

# デザイン総合実習I(空間デザインコース)

必修

開講年次：2 年次後期

科目区分：実習

単 位：2 単位

講義時間：60 時間

■**科目のねらい**：デザイン基本科目（デザイン原論、デザイン史、色彩設計論、ユニバーサルデザイン論、設計製図基礎）や展開科目（空間デザイン論、家具・インテリアデザイン等）の内容を踏まえ、具体的な建築および外部環境についての設計を統合した制作を通して、よりデザインに関する知識・技術を深める。外部環境の計画・設計の基礎を学び、公共空間の計画を経て、都市部における集住体の計画・設計へと実習を進め、植生、人々の活動、空間の大きさ・密度といった様々な視点と計画力を養う。

■**到達目標**：

- ①造園の基本的な計画手法を学ぶ（敷地や地形の読み取り、サイトプランニングの基礎及びプレゼンのための表現技術）
- ②建築についての計画をおこない、平面図、立面図、断面図、透視図、模型などでの確かな表現ができること
- ③建築・造園等を総合した空間デザインの対象として都市部の集住体の計画と設計ができること。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

中原 宏・矢部 和夫・羽深 久夫・斉藤 雅也・山田 良・◎片山 めぐみ・金子 晋也

■**授業計画・内容**：空間デザインの表現方法

1. 外部環境の計画と表現

- 第 1 回 外部環境の計画と表現
- 第 2 回 外部環境の計画と表現
- 第 3 回 外部環境の設計
- 第 4 回 外部環境の設計
- 第 5 回 外部環境の設計
- 第 6 回 制作物の発表と講評

2. 集住体の計画と設計

- 第 7 回 建築の配置と周辺環境／建築の平面・断面計画と周辺環境
- 第 8 回 建築と周辺環境に関する計画の発表
- 第 9 回 集住体の計画（都市部の住環境に対する批評）
- 第 10 回 集住体の計画（空間的集合のスタディ）
- 第 11 回 集住体の計画（集住体の提案）
- 第 12 回 集住体の計画・設計（提案内容の批評）
- 第 13 回 集住体の設計（作図／模型）
- 第 14 回 集住体の設計（作図／模型）
- 第 15 回 制作物の発表と講評

■**教科書**：1については、「造園計画」を使用する。

2については、適宜資料を配布する。

■**参考文献**：「造園計画」、文部科学省

「図・建築表現の手法」、図研究会、東海大学出版会

「建築・都市計画のための空間計画学」、日本建築学会、井上書院

「樹木図鑑URL」、北造協、<http://www.hokuzoukyou.or.jp/zukan/zukan.html>

「増補新版 北海道樹木図鑑」、亜璃西社

■**成績評価基準と方法**：出席（40%）と提出課題作品（60%）を総合的に評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
授業態度・出席	○	○	○	出席、積極的な姿勢	40
発表			○	制作物の意図・内容を明快に説明できること	60
課題・作品	○	○	◎	空間表現が図面上・模型上でできていること	

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：設計製図基礎、空間デザインコースの展開科目、総合実習IIおよび総合実習III（空間デザイン）

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：授業では、基礎的な表現方法から、一連の計画・設計過程までを総合的にを行います。学生各自での努力はもちろんのこと、授業毎での教員とのエスキスチェック・議論を積極的に行ってください。